

●開館時間 10:00～18:00 (中央は平日 10:00～20:00 土日祝 10:00～18:00)

おはなし会 (5月)			今月の特集テーマ	
中央図書館	6日(出) 13日(出)	11:00～	一般	懐かしくて素敵なレトロ
	14日(日) 28日(日)	14:00～	児童	ぎおんご・ぎたいご・オノマトペ
陵南の森図書館	7日(日) 14日(日)	11:00～	一般	書を捨てず、町へでよう ～まち歩きにオススメの本～
	20日(出)	15:00～		
	21日(日) 小さい子向き	11:00～	児童	みんなのオススメの本
	21日(日) 少し長い話を聞ける子向き	11:30～		
東部図書館	10日(火)	10:45～		列車と旅のおはなし
丹比図書館	27日(出) ※図書館は休館しています	10:30～		本をみながらシェイプアップ! リターン
古市図書館	20日(出)	11:00～	一般	気軽にエッセイ
			児童	“こわ～い”よ?
羽曳が丘図書館	13日(出) 20日(出)	11:00～		若返り本

大人のおはなし会

大人から子どもまで、みんなでいっしょに楽しめるおはなし会です。

日時：6月10日(土) 14:00～
 場所：陵南の森公民館 2階視聴覚室
 内容：「明日死ぬかもしれないから
 今お伝えします」

「だってだってのおばあさん」
 「木やりを歌うきつね」ほか

出演：おはなしボランティアグループ
 「はびきの」

事前申し込み不要、入場無料

おはなし会ボランティア 入門講座

日時：6月13日・20日・27日・
 7月11日(火)
 10:00～12:00

場所：中央図書館 会議室
 講師：羽曳野市子ども文庫連絡会・
 おはなしの森の皆さん

定員：10人(先着順)
 申込：中央図書館にて受付中(電話可)

【蔵書点検にともなう休館のお知らせ】

市立図書館では、蔵書点検および資料の整理、システムメンテナンス等を行うため、下記のとおり休館させていただきます。休館中の本の返却はブックポストをお願いします。

- ①中央図書館の休館 5月20日(土)～24日(水)、5月30日(火)～31日(水)
- ②陵南の森、羽曳が丘、丹比、東部図書館、ブックステーションはびきのコロセアムの休館 5月25日(木)～31日(水)
- ③古市図書館の休館 5月31日(水)

※5月31日(水)はシステムメンテナンスのため、図書館ウェブサイトやお電話での予約、貸出期間の延長などのサービスを休止します。
 ※はびきの電子図書館は休館期間中も平常どおりご利用いただけます。

サラダボール

《小さな一歩》

数年前から両親が要介護状態になり、特に母は、車いすを利用しないと出かけることができなくなった。しかしながら、本人は、元気だった時と同じように、いろいろなところに出かけたいというのである。

ご高齢の方、障害のある方など皆いろいろなところに出かけたいと思うのは、同じではないだろうか。

さて、要介護者の母を連れて出かけるとなると、どうしても車を利用することが多くなり、車いすを積んで現地まで行くことになる。

ところが、スーパーマーケットや大型の商業施設の障害者等用駐車スペースは、利用しやすいように入り口付近にあるのだが、たいがい埋まってしまっ

ているのである。それも、障害のない人がどうどうと停めているのを何度も見かけたことがある。

車いすを出すにはある程度のスペースがないと大変である上に、乗り降りにも時間がかかり、また介助も必要なため、やはり広さに余裕のある障害者等用駐車スペースや思いやり駐車スペースは大変助かるのである。

関連する法令などを調べてみたが、車いすマークを貼り付けることも義務ではなく、また、障害のない人が障害者等用駐車スペースに停めたからといって罰則はないらしい。車いすマークや障害者等用駐車スペースの意義・目的は「移動等円滑化に関する国民の理解の増進及び協力の確保」であって、みんなの協力によって成り立っているのである。

つまりは、モラルとマナーの問題であるのだが、駐車スペースの問題だけでなく、人は自分がその立場になっ

ていないとなかなか大変さはわからないようだ。一人一人が自分中心で考えるのではなく、障害のある方やご高齢の方、妊婦の方、小さいお子さん連れの方々など、少し、その人の身になってみることでまた違った見方ができるようになるのではないだろうか。

しかしながら、車いすを押して歩いていると、さりげなくドアを開けてくださる方や、エレベーターのボタンを押して下さったり手伝いましょうかと声をかけてくださる方々もおられて、気持ちほっこりすることもあり、まだまだ日本も捨てたものではないなと思うこともある。

小さな一歩ではあるが、私たち一人一人が相手を思いやる気持ちと譲り合いの心で、「すみません」ではなく「ありがとう」と言える世の中であってほしいと願うばかりである。

はびきの しじんけんけいはつすいしんきょうぎかい
 羽曳野市人権啓発推進協議会